

1. ありたい姿と具体的な成果イメージ

内容

目標



多品目で展開し、我が国の品種開発力を総合的に強化



連携

+



局所温度制御

実需ニーズを踏まえた良日持ち性、早生性等の基盤的品種を開発

品質保持剤、低酸素処理、梱包資材の開発・改良等

局所温度制御、細霧冷房、病害防除技術の開発・改良

民間等の育種を下支え

輸出にも対応可能な品質保持期間・鮮度保持期間の延長

生産コストを低減・安定生産技術体系を構築



大会会場・公共空間を鮮やかに演出



選手村の装飾・ピクトリーブーケ等の大会中の鮮度保持



2. 実現に必要な取組

研究開発

日持ち性、早生性等の基盤的品種の開発

- 日持ち性や早生性等に関する優良系統の選抜
- 選抜された優良形質の固定、品種化を図り、複数品種での中間母本の育成

オリパラ時の社会実装イメージ

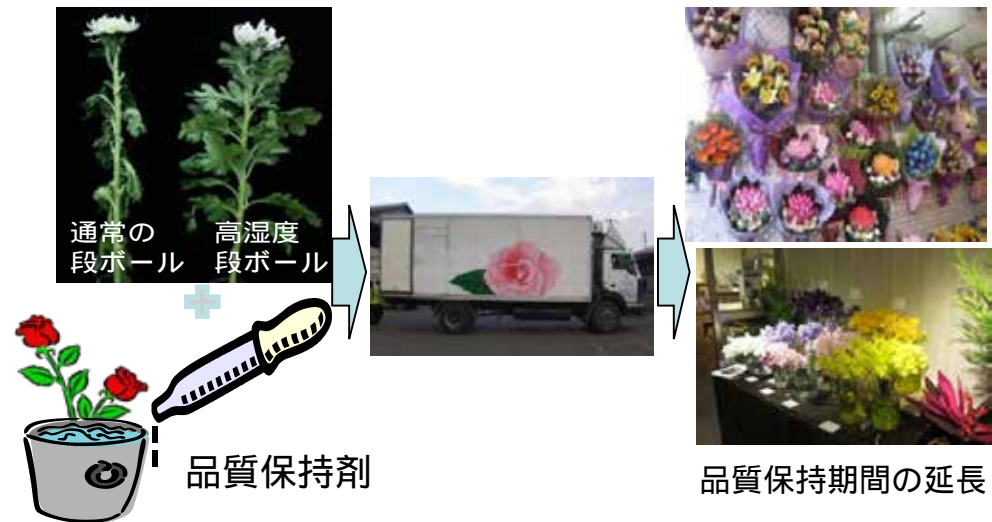


多品目で展開し、我が国の品種開発力を総合的に強化

研究開発

品質保持剤、低酸素処理、梱包資材等の開発・改良

- 低酸素処理等の環境制御を利用した鮮度保持技術の開発
- 品質保持剤や梱包資材との併用による物流段階での鮮度保持技術の開発

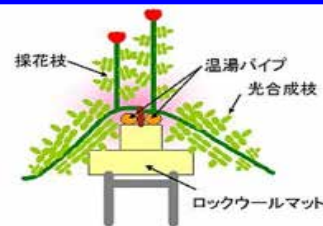


2. 実現に必要な取組

研究開発

局所温度制御、細霧冷房、病害防除技術等の開発・改良

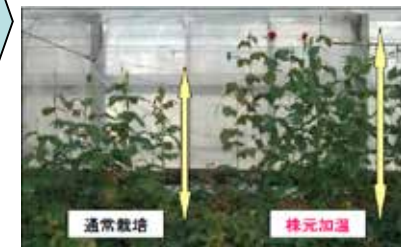
- 局所加温技術や細霧冷房等の技術を活用し、夏場における花き生産施設における低コスト・安定生産技術の開発
- 開発した技術のマニュアル化による生産現場への早期普及・実用化の検討



局所温度制御



細霧冷房



高品質花きの
低コスト安定生産

システム設計

本プロジェクトで開発した生産技術をマニュアル化したり、研究開発により得られた成果を資材等に活用して商品化するなど、速やかに実証段階や社会実装に移行させるため、公設試、普及組織、民間事業者等を参画させたコンソーシアムにより研究を推進する体制を構築する。

3 . 役割分担・事業主体

取組内容	担当機関
研究開発	
基盤的形質を有する花き系統の開発	(H27年度からのプロジェクトとして公募予定)
夏場における安定生産技術の開発	(H27年度からのプロジェクトとして公募予定)
鮮度保持期間延長技術の開発	(H27年度からのプロジェクトとして公募予定)
規制・制度改革	
システム設計	



事業主体
事業主体：

4 . 工程表

取組項目	2015	2016	2017	2018	2019	2020	大会後のレガシー	
研究開発	取組 : 基盤的形質を有する花き系統の開発			民間・公設試等へ育成系統の提供(引き渡し)(2019年3月まで)			大会開催	<ul style="list-style-type: none"> 開発系統を母本とした品種育成 基盤的形質に関する遺伝情報の共有化による育種の効率化 花きの低コスト栽培技術の普及拡大 鮮度保持技術の利用による花きの輸出拡大
	取組 : 夏場における安定生産技術の開発			生産現場における技術の実証				
	温度管理等による低コスト生産技術の開発			生産現場への技術の普及(引き渡し)(2019年3月まで)				
	暑熱と乾燥に対応した栽培技術の開発							
	取組 : 鮮度保持期間延長技術の開発			生産・流通現場における技術の実証				
	環境制御による切り花の品質保持技術の開発			民間企業への技術の引き渡し(2020年3月まで)				
エチレン非依存性花きの品質保持技術の開発								
規制・制度改革								
システム設計								